



会報

DISTRICT 353

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市本町二丁目
ひ さ ご や

例会日 毎週 火曜日
P.M 12:30~1:30

事務所 鶴岡市馬場町
商工会議所内
☎ 0235 ☎ 5775

会 長：三 井 賢 二

幹 事：高 橋 正 太 郎

"Good will begins with you"

By ERNST G. BREITHOLTZ

「善意は先ずあなたから」

1971. 1972

第 618 号 1971. 8. 31 (火) (はれ)

会報はご家族みんなで読みましょう

〔Ⅰ〕出席報告

本日 の 出 席	会員数	62名	欠	阿宗君、阿部(公)君、荒明君、長谷川(文)君、長谷川(悦)君、早坂(徳)君、平田君、三浦君、五十嵐(三)君、五十嵐(一)君、廖君、谷口君、斎藤(信)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、鈴木(弥)君、富樫君、藪田君 (計18名)
	出席数	44名	席	
	出席率	70.97%	数	

前 回 の 出 席	前回 出席率	70.97%	メ ー ク ア ッ プ	海東君、金井君、大川君、三井(徹)君、佐藤(昇)君、佐々木君-鶴岡西R・C、小花君-インターアクト年次大会
	修正 出席数	51名		
	確定 出席率	82.26%		

〔Ⅱ〕お客さま

今 回			
2 名			
前 回 ま で			
22 名			
8 月 計			
22 名			

〔Ⅲ〕会長報告

1. インターアクト大会にお出になりました。下田先生よりお礼状が参りました。
2. 先日例会に出席しましたグロリアネルソンさんからもお礼状が来て居ります。
3. 外国人のためのイタリア大学の解説が来ております。1年を3期に分けて外人のためのイタリー大学を開設しているさうです。御希望があれば申し出下さい。
4. 9月9日10日鹿児島県内会の1行20数名が当地に参り盟約第二回の式典を行うことになりました。此の式典のスケジュールは次の通りです。
 - 1) 9月8日 鹿児島発
 - 2) 9日 18:58 鶴岡着 (白鳥) 湯田川1泊
 - 3) 10日 兄弟都市盟約2周年記念式典 於 致道館 8:40~9:20

市内外見学視察 9:20~16:08

歓迎会松ヶ岡 16:00~17:30

(多数御出席下さい。)

会費 1,500

〔Ⅳ〕 インターアクト地区大会を終って

(その二)

安藤定助君

インターアクト年次大会の内容は先の例会でお話した通りですが、その後各校の学生よりお礼状が来ております。

今回の大会は非常にみのりの多い大会と皆様より認められた様です。

一重に皆様様の御協力の贈と感謝して居ります。決算の方もまとまり、承認を得昨日より支払いに入り、今日で完了の予定になって居ります。残務としては参加校に礼状を出すことで会長の承認を得て今明日中に出すことになっております。

日曜日にホスト校の反省会を青年センターで行ないました。反省会での一番のポイントは「我々はもう一度インターアクトのスタートに立ってやり直さなければならぬ。」と云うことが全員一致した所感の様でした。之は非常に大きな収穫であったと思います。

最後の20分間で「スタートに立って何をやるか」について討議しました。

その結果次の様な意見が出ました。

- 1) 例会について
 - ・時間を守ろう。
 - ・例会場について検討しよう。
 - ・出席をきびしくしよう。
 - ・例会の前にインターアクトの歌を歌おう。

etcと数多くの立派な意見が出ました。

今後の工専インターアクトの発展は期して待つべきものありという感じで聞いておりました。

最後に会長から「立派なみのりのある大会が出来たのもロータリーのお蔭であった」と云うことを皆さんに充分お伝え下さいとのことでした。

〔Ⅴ〕 ロータリー財団学友委員会について

小花盛雄君

今度地区の方に財団学友委員会が新しく出来た様です。石黒君が当クラブから奨学生として出た関係だと思えますが私が委員に指名されまして今年度その仕事をやることになりました。頂度2、3日前にR・Iの方から仕事の内容を通知して参りました。一応申し上げますので御了解を頂き度く存じます。財団関係の奨学生資金の援助を受けて勉強に出た大学院課程、大学課程、専門的訓練並びに研究グループ交換等の人達の消息をガバナー月信等に記載したり又各クラブに訪門する様に奨励したり更には財団関係の文献等によって会員諸君の理解を深める様な活動をしようと思っておりますのでよろしくお願い致します。

〔Ⅵ〕 思いつくままに 早坂源四郎君

私はインターアクトのことについて、

あまり勉強して居りませんが此の前のインターアクト地区大会に出席しまして最後に指導教官とロータリアンの懇談会がありました。

安藤さんの司会で非常に活発な議論が行なはれ大変盛会でした。

その時インターアクトの思い出について話す様にとのことでしたので次の様な話をしました。

私が会長時代に出来た鶴西校インターアクトの会員に20名近くでしたが現在8名程度になっているそうです。

その時先生にも申し上げましたがインター

アクトクラブも作るばかりが能ではなくそれを円滑に運営し長く継続して行くところに意義があるのではないかと云うことを私は申し上げた訳です。現在西高の方は指導された方が大変熱心で学校の方ともうまく円滑に行っているとのこと。資金の面ではいささか苦勞している様です。高専校のインターアクトクラブを鶴岡クラブで作った関係上西校のインターアクトクラブを西クラブに引渡した形になって居ります。然し未だに西クラブと協同スポンサーになって居ると思しますのでインターアクト委員会として種々の援助をしたらどうかと思います。

先程も申し上げましたが、何事も特に企業は継続するところに意義があると思います。最近酒田等でも経済的に苦しい企業も出て来てる様です。

その時私は種々考えましたがロータリアンのつき合いは良い時ばかりでなくこの様な時にお互いに助け合う必要があるのではないかと存じます。

その方法として金銭ばかりではなく精神的な面、アドバイス等は出来るのではないかと思います。そこで私の提案したいことは職業奉仕委員会が経営研究会を開いてはどうかと思います。

(続いてローターアクトについてお話がありました。)

〔VII〕ドルショックについて 池内方平君

我々の過去に大きな変動を与えた戦争経済のあとの反動大正8年第一時大戦終了と同時に「ガタ」が来て、成金が全部裸になったという歴史がある訳です。

日露戦争の頃は私はまだ小さくて解りませんが、第一次戦では良く存じて居ります。第二次大戦では日本は敗戦で裸になってしまったので反動はありませんでした。戦後昭和25年

の朝鮮動乱を契機にして日本の経済は復興経済になりました。その後20数年間復興経済並びに成長経済をつづけて今日に至って居ります。私の理論根本は戦争経済の様にいわゆる軍需品、即ち兵器弾薬の製造で作っても間に合わない時は産業は猛烈な勢力で発展し、設備投資も積極的に行なはれます。それが戦争が終了すると同時に「ガタ」が来る訳です。

戦後の日本経済は20数年に亘って成長しつづけて大きく水ぶくれして居た訳です。これがこのまま5年10年成長しつづけて行くかそこに私の疑問がありました。これは何かの形に於て必ず整理段階に入るだろう、それはどういう形か、どういうきっかけか、成は何時来るだろうかと云うことは解らないが必ず来ると考えていました。

ところが16日の午前10時にニクソンが世界に対して輸入課徴金問題を発表したことから大きなショックを世界に与えた訳です。これがきっかけで、日本のみならず、世界が大きなショックを受けたことは皆さん御存知の通りです。

8月の16日から始まって、日本以外の国は大方変動相場制をとって居ります。

アメリカのねらいは課徴金の問題だけでなく次のねらいはアメリカのドル対各国の通貨のルートの修正という問題がある訳です。それで早く欧州方面ではこれを変動相場に切替えたのですが、日本では平価維持ということを守持(1ドル360円)して居りました。

27日1日で12億ドルの交換をしたとのこと。45億のドルを日本は買い込んでしまいその損金だけでも膨大なものになっています。アメリカがこの様なことに踏み切った根本理由は戦後アメリカが世界各国は膨大な投資をしてドルを放出したと同時にベトナム戦争に介入して泥沼に入ってしまう大きく国費を費したということ、最近スタグレーションと云はれる不況下に於ける物価上昇等でアメ

リカは困り抜いて居りました。まして45年度に於ては貿易収支さえも赤字になってしまい世界の経済リーダーシップをとっていたアメリカが経済的に行きづまっている現状を打解するためには思い切った手を打たなければならぬということだと思います。繊維問題から始まったダンピング問題も1年以上になって居りますが日本の態度が煮えきらないと云って居ります。

然かも日本の貿易はアメリカに対して20億ドルの差があります。その点に於て日本の経済成長、経済大国と云う社会的認識に対して何らかの方法を講じなければならないというところに問題がある訳です。

前駐日大使のライシャワー氏は

アメリカは日本の経済成長に恐怖感をもっているということ、

中国は日本の軍事再建に対する恐怖感をもっていること、

日本のこれからの成長はアメリカに対しては経済的な大きな恐怖であり中国に対しては軍国主義としての再出発が恐怖感となっています。

そこで日本の成長経済的におさえなくてはアメリカの経済問題と同時に中国の将来に対する恐怖感が消去出来ないということからまたまた来年の5月前ニクソン訪中という問題で日本をのりこえて米ソの接近がある訳です。その他さまざまな問題が日本の最近の成長と日本人の考え方が国際的にどっちかと云うと片輪的であるので世界の大きな非難を受けています。アメリカ側としては少くとも日本の円の切上げが20%以上望んで居るだろうし、又それ以上上げなければ輸入課徴金の問題は撤廃しないだろうと考えます。

これからの日本経済は非常に大きな問題をかかえておりこれから具体的に産業別にどう影響をうけるかということは大変深刻な問題です。

今後の経済情報に対して特に御注意される様期待致します。

〔Ⅷ〕 幹事報告

- (1) 認証状伝達式 370地区長崎県諫早R・C
11/21(日)於 諫早市体育館
- (2) 例会場変更
山形西R・C
9月より大沼デパート7階特別食堂
山形R・C
9/8 5時30分より丸久にて
クラブフロラムのため
- (3) 林茂助氏よりインターアクト参加の御礼
のハガキ到着
- (4) 会報到着
東根、大阪、山形、山形西、高島R・C